



おぐに ひろふみ 小国 浩文 議員

第3町内の水害対策は

早急な工事着工を



最上小国川の逆流により浸水した寺下地区

〔質問〕平成27年に声を上げ地元県議のご尽力をいただき、約6年の歳月がかかりましたが、今年度によりやく県において堤体工事が行われる見通しを示された様ですが、内水対策は町が行わなければならぬとの話を聞きました。舟形第3町内の安心安全の為どのような内水対策を行う考えなのか伺います。

〔町長〕舟形第3町内の水害対策につきましては、寺下地区の浸水防止対策を県と町とで連携して進めております。県は、主要地方道新庄舟形線の新舟形橋の川側に堤防を新設し、最上小国川から流入する外水への対策を行い、町は、水路側の内水への対策を行います。堤防の設計はほぼ完了しており、規模は県道の新舟形橋より少し低い高さで

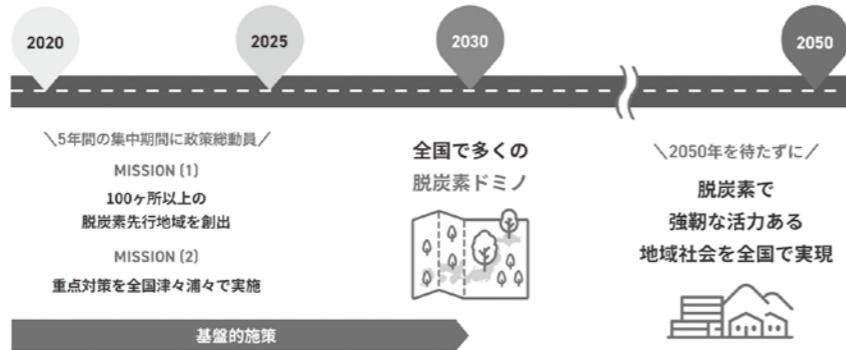
天端幅が4m、最上小国川と水路の合流部に、河川からの逆流を防止するため水位差で物理的に作動するオートゲートが設置されます。町が行う内水対策は、可搬式の水中ポンプでの排水を基本として、県から、内水の流入量とポンプの設置場所の検討をしていただき、それに基づき、町では、水中ポンプの性能や台数、電源の確保方法を検討しているところであります。

脱炭素社会への取組は再生可能エネルギーを活用

〔質問〕国においては脱炭素に向け、各自治体や地域の取組が国全体の脱炭素化につながるよう、国と地方の連携をお願いし、目標達成に向けては、今後5年間を集中期間と位置付け、自治体や企業への資金支援に関して、今後基金や交付金など新たな制度をつくり、法整備を視野に検討を急ぐ考え

を示した。町としてのどの様に取組んで行くのか伺います。

〔町長〕町としては、町第7次総合発展計画の基本目標6「快適な暮らしを叶えるまち」において「循環型社会の推進」と「環境に優しいエネルギー政策の推進」を具体的施策に掲げ、家庭及び事業所



温室効果ガスを減らせ (環境省「脱炭素ポータル」より)

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。(本会議での持ち時間は一人40分)

おぐに ひろふみ 小国 浩文 議員 9ページ

- ★1 第3町内の水害対策は
- ★2 脱炭素社会への取組は



さとう ひろゆき 佐藤 広幸 議員 10ページ

- ★1 舟形八幡神社本殿の建築物を町指定文化財に



あらかわ ひろみつ 荒澤 広光 議員 11ページ

- ★1 堀内橋架け替え事業の進捗状況について



いとう きんいち 伊藤 欽一 議員 12ページ

- ★1 通学路の事故防止対策は
- ★2 町道等の危険箇所修繕を



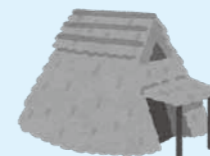
さいとう よしひこ 斎藤 好彦 議員 13ページ

- ★1 高齢者等の情報弱者対策を
- ★2 複合災害に備えた体制強化を



かなうち まさき 叶内 昌樹 議員 14ページ

- ★1 縄文遺跡群と縄文の女神の結びつけは
- ★2 ICT技術の具体的な活用と課題は



おぐやま けんぞう 奥山 謙三 議員 15ページ

- ★1 舟形町農業の持続的発展を願って



一般質問に7人が登壇

町政を問う

〔一般質問 掲載要綱〕
●一般質問本文への掲載件数は、2件以内で3件目はタイトルのみ掲載。
●本文の字数は、質問330字以内、答弁は550字以内のため、内容を要約して掲載。
★マークのついた内容を一般質問本文へ掲載。